

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和4年第22週の発生動向

### トピックス

・新型コロナウイルス感染症 (新型インフルエンザ等感染症) の報告が1,748例あり、2022年の累積報告数は48,113例となった。

### 全数報告の感染症 (22週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。  
5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒6例、破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	疑似症患者	胸水増加
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	肺炎、菌血症
		宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
	20歳代		女	早期顕症梅毒Ⅱ期	紅斑	
	20歳代		女	無症状病原体保有者	なし	
	20歳代		女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹	
	梅毒	都城	60歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹
日向		30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹	
破傷風	宮崎市	40歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口障害	

### 新型インフルエンザ等感染症 (22週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症1,748例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	618例	98	119	73	102	106	46	30	28	12	3	1	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	394例	117	73	41	77	49	14	10	11	2	—	—	
延岡	190例	30	39	24	30	23	19	15	10	—	—	—	
日南	145例	14	14	23	20	30	8	13	12	7	4	—	
小林	113例	36	16	11	20	13	6	4	7	—	—	—	
高鍋	138例	26	22	16	19	20	9	8	6	10	2	—	
高千穂	3例	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—	—	
日向	113例	23	29	9	10	23	8	5	2	3	1	—	
中央	19例	3	1	4	3	2	1	3	1	1	—	—	
県外	15例	2	3	1	5	3	1	—	—	—	—	—	

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は326人(定点当たり9.2)で、前週比119%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘及び手足口病で、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

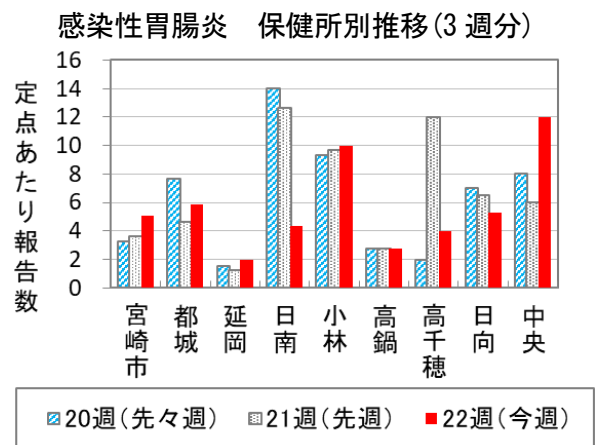
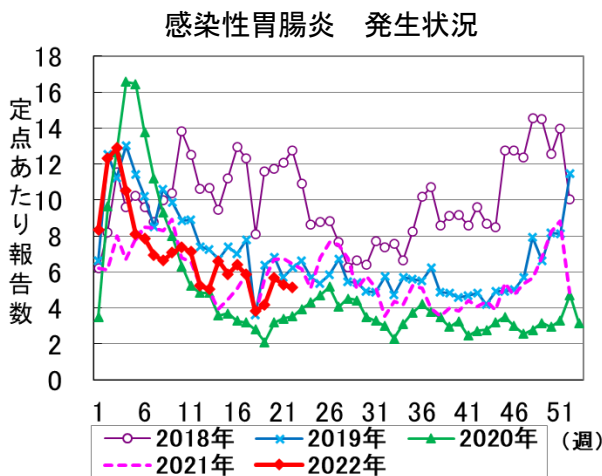
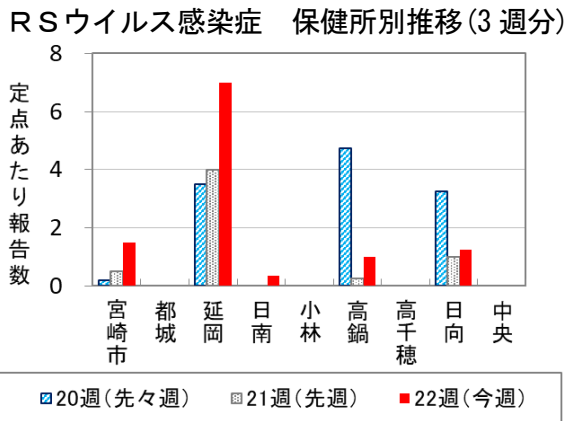
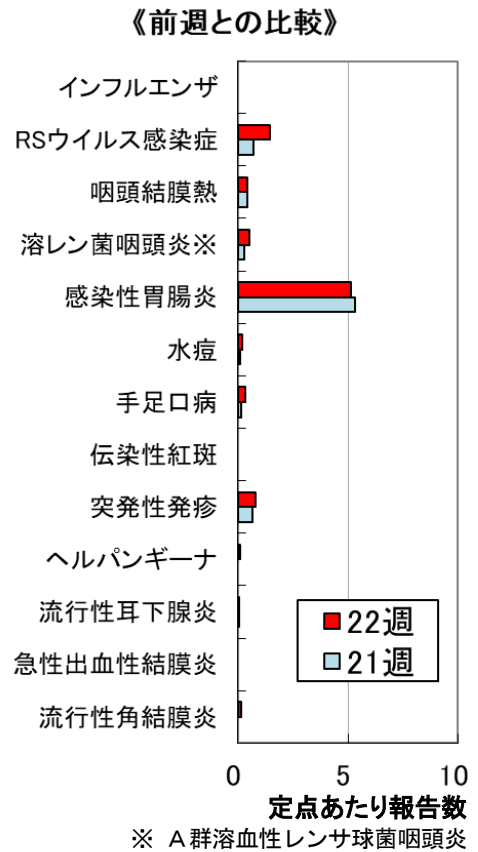
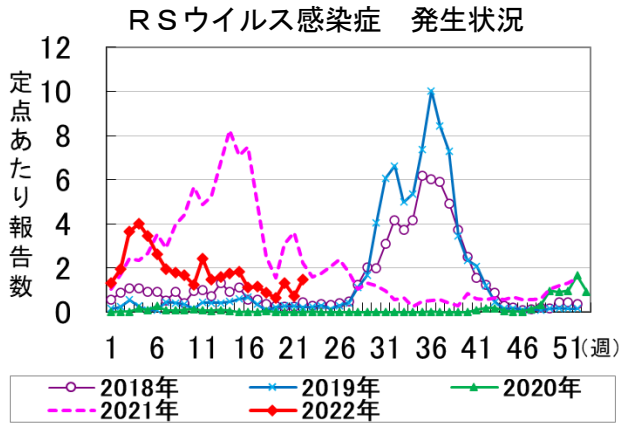
【RSウイルス感染症】

報告数は53人(1.5)で、前週比204%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.64)の約2.3倍であった。延岡(7.0)、宮崎市(1.5)、日向(1.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は185人(5.1)で、前週比97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値\*(7.3)の約0.7倍であった。中央(12.0)、小林(10.0)、都城(5.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(1.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

\*流行注意報レベル基準値\*  
・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年6月6日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O157:H7 VT2)	0～4歳	女	2022.05.18	胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、血便、腹痛)	便	2022.06.01

○0～4歳女児から腸管出血性大腸菌（EHEC O157:H7 VT2）が検出された。腸管出血性大腸菌による感染症は、一般に初夏から晩秋にかけて多発することから、今後の発生動向に注意する必要がある。なお、宮崎県では毎年、保育園等でEHECの集団感染が発生しており、食べ物を介した感染だけではなく、簡易用ミニプール水等を介した感染等にも注意する必要がある。保育施設においては、厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」2018年3月改訂（2021年8月一部改訂）を参照されたい。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	女	2022.03.13	麻疹疑い、40.2℃、発疹(丘疹)、鼻汁、結膜充血	血液(血漿)	2022.05.31
サイトメガロウイルス	0～4歳	女	2022.03.31	ヘルペスウイルス性歯肉口内炎、37.7℃、発疹、下痢	咽頭ぬぐい液	2022.05.31

○乳児1名の血漿からヒトヘルペスウイルス6(HHV-6)が検出された。HHV-6の初期感染は乳幼児の突発性発疹の原因となり、基本的に自然軽快する予後良好なウイルス感染症である。まれに熱性けいれんをはじめとする中枢神経合併症を併発し、免疫不全宿主で再活性化することがある。HHV-6は末梢血単核球や唾液腺に潜伏および持続感染するため、原因ウイルスとして考える場合は、潜伏や持続感染したウイルスが存在しない血漿や髄液などからの遺伝子検出が重要である。

## ✚ 全国 2022 年第 21 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	241 例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	87 例	腸チフス	1 例	
4類感染症	E型肝炎	9 例	エキノкокクス症	1 例	オウム病 1 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例	つつが虫病	6 例	デング熱 1 例
	日本紅斑熱	12 例	レジオネラ症	90 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 22 例
	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 13 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例	水痘(入院例)	8 例	梅毒 149 例
	播種性クリプトкокクス症	4 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 4 例
	百日咳	7 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例	

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 109%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及び水痘で、減少した主な疾患は特になかった。

RSウイルス感染症の報告数は628人(0.20)で前週比118%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.62)の約0.3倍であった。岐阜県(0.96)、島根県(0.74)、宮崎県(0.72)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は992人(0.32)で前週比178%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.52)の約0.6倍であった。鹿児島県(0.79)、京都府(0.72)、新潟県(0.68)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

## 宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第22週(05月30日～06月05日)

疾病名	第21週	第22週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	26	53	15		28	1		4		5
	定点当り	0.72	1.47	1.50	0.00	7.00	0.33	0.00	1.00	0.00	1.25
咽頭結膜熱	報告数	16	16	4	4	7			1		
	定点当り	0.44	0.44	0.40	0.67	1.75	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	11	18	4	3	1	8		1		1
	定点当り	0.31	0.50	0.40	0.50	0.25	2.67	0.00	0.25	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	191	185	51	35	8	13	30	11	4	21
	定点当り	5.31	5.14	5.10	5.83	2.00	4.33	10.00	2.75	4.00	5.25
水痘	報告数	3	7	1	1	1	3		1		
	定点当り	0.08	0.19	0.10	0.17	0.25	1.00	0.00	0.25	0.00	0.00
手足口病	報告数	6	12	2	5		1			2	2
	定点当り	0.17	0.33	0.20	0.83	0.00	0.33	0.00	0.00	0.50	2.00
伝染性紅斑	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	24	29	10	6	1	2	3	2		3
	定点当り	0.67	0.81	1.00	1.00	0.25	0.67	1.00	0.50	0.00	0.75
ヘルパンギーナ	報告数		3		1	2					
	定点当り	0.00	0.08	0.00	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2	1							1
	定点当り	0.03	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数		1	1							
	定点当り	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～22週)

2類感染症	結核	45例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	5例
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	33例(6)
	破傷風	3例(1)	百日咳	8例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	48113例(1748)		

( )内は今週届出分、再掲